高田みかん

毎月、まちの話題やまち協の行事などをご紹介します。

2020年11月号

制作：企画広報部会

初秋の里山を歩く

第６回 パノラマウォーキング
９月27日（日）

申し分のない秋晴れのこの日。集合会場の遥拝神社には、スタッフを含め老若男女100名ほどの参加者が結集しました。

早瀬まち協会長の歓迎のあいさつのあと、村上スポーツ交流部会長（リ・ボンズ代表）が大会の概要を説明。

たっぷりコース（４㎞）とゆったりコース（２㎞）に分かれて、元気よくスタートしました。

山すそを駆け上がる風に秋の気配を感じるイベントとなりました。

衣類などのフリーマーケットも開催。
売上金は７月豪雨で被災した坂本町のために寄付された。

親も子供もみんな友だち。パノラマウォークのコースの最高地点は約100㍍の標高。街並みや工場、八代平野に広がる農地。熊本市の金峰山、宇土半島、雲仙、天草上島、そして流れゆく球磨川と八代海を見渡すことができる。

9月26日
高田小 運動会
短縮開催

入場制限に配慮してほんの短時間、遠巻きにて取材をしました。各町内ごとのテントは設置されておらず、観覧者も例年より少なく感じました。
11時半ごろには運動会の終了を告げる“爆竹”が鳴りました。

編　集　後　記

“スポーツの秋”ですが…本来なら、ドドーン！と運動会やイベントの紹介・報告を掲載すべき本号も物足りない内容となってしまいました。コロナ禍により、まち協関係者の苦悩も続きます。特に体協は感染防止対策などを講じ、各町の意見を聴きながら、体育行事への参加を呼び掛けています。次号は一つでも明るい話題が掲載できますように（祈）

ソーランを踊る子どもたち。お互いある程度の距離を確保しているようです。